

栄養学

| | | | |
|--------------|-------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 看護専門基礎講座 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 | 講義 12 時間 |
| 期 間 | 後期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

本科目では、生化学、病理学概論で修得した知識を踏まえ、栄養素の種類とはたらき、体内代謝を学修するとともに、各ライフステージにおける栄養に関わる問題、疾病と病態に応じた栄養療法について学ぶことにより、看護ケアにおける栄養の重要性について理解を深める。また、近年の医療現場では、看護師としての専門性を活かしながら多職種協働のチーム医療の中でトータルな視点で患者と関わっていくことが求められていることから、栄養ケア・マネジメントの概要や評価について解説し、栄養サポートチーム（NST）の中で看護職が果たす役割についても学修する。

・教育成果（アウトカム）

看護ケアにおける栄養の重要性を理解するとともに、疾病・病態に応じた食事栄養療法の基本的な知識の修得を通して、栄養ケアシステムが有効に機能するように調整・統合化できる看護職への導入基盤が形成される。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：4, 7

・到達目標（SBO）

- 看護に必要な栄養と代謝について説明できる。
 - ・保健・医療ならびに看護ケアにおける栄養学の重要性について説明できる。
 - ・各栄養素の種類とはたらき、消化・吸収・体内代謝について説明できる。
 - ・エネルギー代謝の過程、Atwater 指数、呼吸商について説明できる。
 - ・「日本人の食事摂取基準」の策定方針、設定指標、食品群について説明できる。
- 栄養ケア・マネジメント、チーム医療における看護師の役割について概説できる。
 - ・チーム医療、保健医療福祉チーム員の機能と専門性、チーム医療の中での看護の役割について説明できる。
 - ・チーム医療の中での、相互の尊重・連携・協働について説明できる。
- 栄養アセスメントの意義、評価・判定法について説明できる。
 - ・重篤な状態にある患者の全身状態を査定（Assessment）する方法について説明できる。
 - ・慢性的な健康課題を有する患者の全身状態を査定（Assessment）する方法について説明できる。

4. 各ライフステージと栄養との関わり、問題点について概説できる。
 - ・人間のライフサイクルと発達について説明できる。
 - ・健康・不健康の連続性を踏まえて、健康を総合的に捉え説明できる。
 - ・妊娠・分娩・産褥の生理、胎児・新生児・乳幼児の生理について説明できる。
 - ・新生児・乳幼児と家族の健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。
 - ・児童期・学童期・思春期の健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。
 - ・成人期の健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。
 - ・加齢に伴う健康課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。
5. 栄養補給法の種類（静脈・経腸栄養）と選択、合併症について説明できる。
 - ・日常生活援助の基本技術（食事、睡眠、排泄、活動、清潔）を理解し実施できる。
6. 主な疾患・病態における治療方針を理解し、栄養食事療法の意義について説明できる。
 - ・主要な疾病の病状、病因、病態、治療、予後について説明できる。
 - ・重篤な状態にある患者の疾患・病態・症状について説明できる。
 - ・重篤な状態にある患者に対する治療法について説明できる。
 - ・主要な慢性疾患の病態とその合併症について説明できる。
 - ・慢性的な健康課題を有する患者への治療と効果について説明できる。

・授業日程

(矢) 東 2-A 講義室

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|------|----|----|----------|----------|--|
| 9/4 | 水 | 3 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | 看護と栄養ケア（イントロダクション、チーム医療） <ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療ならびに看護ケアにおける栄養の重要性を理解できる ・栄養ケアやチーム医療（栄養サポートチーム）における看護師の役割について説明できる |
| 9/26 | 木 | 4 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | 栄養素の種類とはたらき・吸収・体内代謝1（糖質・脂質・蛋白質） <ul style="list-style-type: none"> ・糖質・脂質・蛋白質の各々の種類とはたらきを説明できる ・窒素出納について説明できる ・糖質・脂質・蛋白質の消化・吸収過程の概要を理解できる ・栄養素の代謝や解毒作用における肝臓の役割を説明できる ・代謝産物の排泄機構の概要を理解できる |

| | | | | | |
|-------|---|---|----------|----------|---|
| 10/10 | 木 | 4 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | <p>栄養素の種類とはたらき・吸収・体内代謝2（ビタミン・ミネラル）、エネルギー代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビタミンの種類と生理作用、欠乏・過剰症の概要を説明できる ・主なミネラルの種類と生理作用、欠乏・過剰症の概要を説明できる ・食物繊維の分類とはたらきを説明できる ・三大栄養素のエネルギー代謝の過程、Atwater 指数、呼吸商について説明できる ・エネルギー代謝の評価法と種類について説明できる |
| 10/30 | 水 | 3 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | <p>日本人の食事摂取基準、ライフステージと栄養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本人の食事摂取基準」の策定方針、設定指標、食品群の概要について説明できる ・各ライフステージと栄養との関わり、問題点について概説できる |
| 11/13 | 水 | 4 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | <p>栄養ケア・マネジメント、栄養アセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケア・マネジメントの意義と構造について説明できる ・栄養アセスメントの目的と方法（主観的包括的評価、客観的データアセスメント）について説明できる ・蛋白質・エネルギー低栄養の病態と分類を説明できる |
| 11/27 | 水 | 4 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | <p>臨床栄養1（栄養補給法の種類と選択、消化管疾患）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養補給法の種類（静脈・経腸栄養）と選択の基準、合併症について説明できる ・経腸栄養剤の種類と特徴を説明できる ・主な消化管疾患における食事療法の概要と留意点を説明できる |
| 12/11 | 水 | 4 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | <p>臨床栄養2（内分泌・代謝疾患）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥満、糖尿病、脂質異常症における食事療法の要点を説明できる |

| | | | | | |
|-----|---|---|----------|----------|--|
| 1/8 | 水 | 2 | 看護専門基礎講座 | 遠藤 龍人 教授 | 臨床栄養3（肝臓・腎臓疾患） ・主な肝疾患（肝硬変）疾患における食事療法の要点と留意点を説明できる ・主な腎疾患（慢性腎臓病）における食事療法の要点と留意点を説明できる |
|-----|---|---|----------|----------|--|

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|--|------|--------|------|
| 教 | 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学 第12版 | 中村丁次 | 医学書院 | 2015 |
| 参 | 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第3版 | 田地陽一 | 羊土社 | 2016 |
| 参 | ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学 第4版 | 關戸啓子 | メディカ出版 | 2015 |
| 参 | ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害 第3版 | 明石恵子 | メディカ出版 | 2014 |
| 推 | 系統看護学講座（別巻） 栄養食事療法 第3版 | 中村丁次 | 医学書院 | 2015 |

・成績評価方法

定期試験で行われる筆記試験（記述・多肢選択）80%、レポート20%により総合的に評価を行う。
レポートは、webclassで提出する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

1. 事前学修については、各回の授業内容および到達目標の内容に関し、教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分以上を要する。適宜、講義の冒頭で事前学修内容の確認時間を設ける。
2. 講義終了後はノートと教科書・配付資料で復習し、知識と理解の定着に努めること。事後学修の習熟度は、次回講義で演習問題を実施し、ディスカッションを交えながら双方向で確認する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

1. 適宜、webclassに演習問題と解説等を公開することにより、知識の定着と理解の促進を図る。
2. 提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却またはwebclassに解説等をアップする。

【その他】

1. 各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。
2. 事前事後学修においては、e-Nurse Trainer（電子教育ソリューションサービス：本学図書館を經由して接続）教材「機能障害からみたからだのメカニズム」を用いた発展学習を推奨する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門基礎分野 人体の構造と機能

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------|----|-----------|
| 講義 | プロジェクター（VPL-FWZ60） | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ（P-100） | 1 | 講義用資料投影 |